



区のおしらせ

令和6年(2024年)

10/1

No.1940

毎月1日・15日
25日(地域版) 発行

せたがや

SETAGAYA



その食品 買いすぎて いませんか!?

区内で実際にごみとして
出されていた
未使用・未開封の食品です

食品ロスとは、まだ食べられるにもかかわらず、
捨てられてしまう食品のことです。
食品ロスは、毎日の買い物の際に「もったいない」を
意識することで減らすことができます。

日頃からいくつ達成
できているか、
チェックしてみましょう!

☐ チェックその①

買い物に行く前に
手持ちの食材と期限を
確認

スマホで
冷蔵庫の中を
撮影するのも
効果的



☐ チェックその②

**使う分・食べきれる量
だけ買う**



☐ チェックその③

すぐ使う商品は
「てまえどり」



図清掃・リサイクル部事業課 ☎6304-3253 FAX6304-3341

主な内容 ①高齢者インフルエンザ予防接種 ②高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種…2面 | 「福祉の相談窓口」をご利用ください…8面



世田谷区長
のぶと
保坂展人

食品ロスの削減を

日本が「飽食の時代」と呼ばれるようになって久しい今日、農林水産省が発表する家庭系食品ロス量は236万トン(2022年度推計値)となっており、世田谷区でも約1.2万トンの家庭系食品ロスが発生しています。一方で、気候危機は農作物にも甚大な影響を与えていて、収穫量や漁獲量の減少が懸念されています。

食品ロスは、単に食品の無駄という身近な問題であるだけでなく、地球規模での気候変動や農水産資源の不足、貧困や飢餓に直結します。また、食品の生産・加工に伴う流通が無駄になることにもなります。

区では、食品ロス削減の取り組みの一つとして、食品ロスやプラスチックごみの削減に取り組む飲食店や小売店を「せたがやエコフレンドリーショップ」として登録し、区のホームページ等で紹介しています。ぜひ、ご利用いただき、食品ロス削減にご協力ください。

食品ロスは、食事に向き合う全ての人の関わる問題です。一人ひとりが「もったいない」を意識し、日常の中の小さなことから食品ロス削減に向けて取り組むことが大切です。